

●漁況情報

- 1月28日、横須賀市佐島地先の大型定置網に、278 kgのクロマグロが入網しました。湘南漁協組合長は、「これだけ大きなクロマグロの入網はここ10年来見られなかった。1月4日に発足した当漁協にとって幸先の良い出来事です。」と喜んでいました。



278 kgのクロマグロ

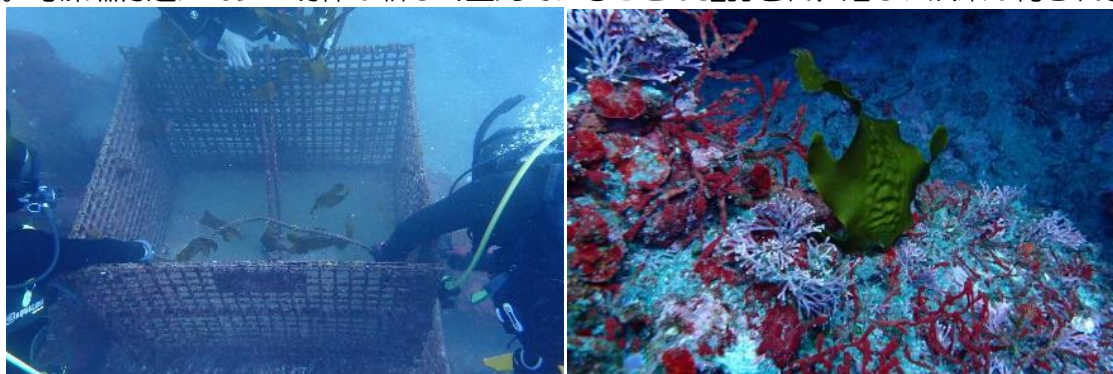
●浜の話題

- 1月4日、横浜市漁協金沢支所の漁業者は、当センター資源管理課が生産したアカモク種苗を用いた養殖試験を始めました。アカモクが増加傾向にある東京湾側でも、資源増殖管理のため養殖し成熟したアカモクを母海藻として用いるそうです。



アカモク種苗 アカモク種苗をロープに差し込みました

- 1月17日、神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会は、鎌倉のホテルにおいて、総会を開催しました。総会では前年度事業・収支決算報告及び新年度事業計画案等の承認のほか、規約を改正し、総会議決事項等を定めました。
- 1月18日、25日、小田原藻場再生活動組織はカジメ母藻礁のメンテナンス及びモニタリングを実施しました。母藻礁付近にカジメ幼体が新しく生えていることが確認され、嬉しい成果が得られました。



母藻礁メンテナンス作業

新しく確認されたカジメ幼体

- 1月26日（金）、令和5年度磯焼け対策全国協議会が東京大学で開催され、三和漁業協同組合城ヶ島支所所属指導漁業士と、水産技術センター主任研究員が「カジメとアカモクの人工種苗生産と海域展開による藻場再生の取組み」を発表しました。当日は全国から藻場再生に関わる漁業者、企業や行政の担当者など338名の参加者があり、活発な質疑が行われました。



発表する指導漁業士

- 1月29日、岩漁協海士会は食害対策を施したカジメ増殖試験を開始しました。カニかごなどを改造したものにカジメを入れ、漁港内に設置しました。今後は成長状況を確認しながら、漁港外の海底に移設する計画です。



カジメを入れた設置前のカゴ

- 1月29～31日、神奈川県しらす船曳網漁業連絡協議会は14名で、岡山県の漁網メーカー 横山製網株式会社並びに、香川県及び広島県の水産物の直売所を視察しました。漁網メーカーでは、製造技術及び品質管理について理解を深めていました。直売所では、瀬戸内地域の食文化にふれるとともに、加工品の商品設定や販売方法についてヒントを得ていました。



3重結節の網を製造する特殊な編機



香川県の直売所

- 長井から鎌倉地区では、2月に入って養殖ワカメの収穫が始まりました。今年は、長井・大楠地区に加えて、鎌倉や腰越地区でも古い海苔網等を流用した囲い網を設置したり、小坪地区では水温が低い場所に養殖筏を移設した効果もあったためか、全般的に食害は前年と比べて少なかったものの、地区によっては食害が多かったところもありました。また、親縄がたるんだ部分に食害を受けた例がありました。親縄に浮子を多く付け、水深30cmより浅いところで、たるませないと効果があるようです。

- 2月3日、大磯二宮漁協は、大磯港において、「さかなの朝市」を開催しました。朝市は、新たに組合自営による小型定置網の操業を開始したことから、6年ぶりに再開されました。今後は、大磯港の交流施設「大磯コネクト」が開催する「コネクトマルシェ」とともに、毎月第1土曜日に開催するそうです。

大磯町観光情報サイト <https://www.town.oiso.kanagawa.jp/isotabi/eat/pagedate/19686.html>

- 2月8日、平塚市漁協は、海底耕耘を実施しました。水深3~7mの砂底域で海底耕耘機を曳き、海底を耕してチョウセンハマグリやダンバイキサゴ等の貝類の生育に適した底質に改善します。



海底耕耘の様子

- 昨年3月16日に小坪漁協の座間指導漁業士が早ワカメと地元の天然ワカメの掛け合わせを試行したワカメは、他品種と比べて成長が早く、2月上旬からメカブの出荷が始まっています。来年の更なる早取りを目指して、この早ワカメと他品種の早熟株の掛け合わせに取り組むそうです。
- 2月13日、平塚市漁協は、ウェブページ「持続的な漁業への取組みについて」を公開しました。「ブルーカーボンチャレンジ」をはじめとした取組みを紹介しています。
平塚市漁協「持続的な漁業への取組み」 <https://www.jf-hiratsuka.org/sustainable>

● お知らせ

- 新規就業者の確保・定着に向けた漁協等向けのセミナーについて

第3回 日時：2月22日（木）15時15分から

場所：横須賀三浦地域県政総合センター5階5A会議室（横須賀市日の出町2-9-19）

第4回 日時：2月28日（水）14時から

場所：江の島片瀬漁協2階会議室（藤沢市片瀬海岸2-20-25）

講師 一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター 事務局長

研修内容 ①漁業外からの就業者の確保・定着に係る講演、②ワークショップ（講師とのディスカッション等想定）※①、②を併せて1時間程度を想定しています。

<参加申込 URL> <https://survey.mynavi.jp/cre/?eng=Z2LGPAYIXIc%3d>



（問）水産企画グループ 045-210-4542